

## 11. Minmetals: China Minmetals Corporation

### (中国五鉱集团公司)

#### 1) 企業概要

中国中央政府組織である『国有資産監督管理委員会』が国務院の指導を受けて管理する国有企業集団の一つで、長期安定的な原料確保を目指し中国政府の政策に従って事業を展開している。

中国五鉱集团公司は鉄鋼・非鉄金属(アルミ・銅・その他)の採鉱・製錬・加工・販売・投資などを実施するグループを形成している。鉄鋼関連は五鉱発展股份有限公司(五鉱発展)が、非鉄関連は中国五鉱有色金属股份有限公司(五鉱有色)が主体となりグループ運営されている。

#### (1) 中国五鉱集团公司

China Minmetals Corporation (略称"中国五鉱"、英名略称"Minmetals")

#### 中国五鉱集团公司 (Minmetals) 概要

本社	中国 北京
主要事業〔鉱種〕	鉄・銅・アルミ・貴金属・その他非鉄金属・レアメタルの鉱山運営と開発、採掘と製精煉、加工品生産及び貿易物流、投資企業を介した開発生産事業〔Fe, Al, W, Cu, Sn, Ni, Zn, Pb, Sb, REE, 貴金属, その他レアメタル〕
従業員数	168,333 人
決算日	—
主要関連会社	鉄鋼；五鉱発展股份有限公司 非鉄；五鉱有色金属股份有限公司 アルミ；五鉱資源有限公司 銅；五鉱江銅鋁業投資有限公司 タングステン；厦門钨業股份有限公司(Xiamen Tungsten Co.,Ltd.) 金融；五鉱投資発展有限責任公司 不動産；五鉱建設有限公司 物流；五鉱物流集团有限公司 海外；中国五鉱香港控股有限公司 (中国国内に 780 の全資あるいは合資企業)※付表参照

なお、2010 年に統治体制の改変が実施され、中国五鉱集团公司(China Minmetals Corporation)の下に中国五鉱股份有限公司(China Minmetals Co. Ltd.)を設置し、その傘下に 6 つのビジネスユニット(鉄鋼、非鉄金属、鉄鋼物流、金融、建設、科学技術)を位置づける体制としている。

これに伴い、中国五鉱股份有限公司の上場も予定されているが、詳細は明らかでない。また、子会社の管理体制も変更される予定であるが、未だ明確となっていない。



图11.1 中国五矿集团公司の統治体制

6大主業 分類 資源探査 採掘・選鉱 資源流通 製錬 金属加工 金属流通

鉄鋼	鉄鋼	五鉱発展	勘察開発公司	魯中鉱業集団 邯邢冶金鉱山管理局	五鉱鋼鉄有限責任公司
				中国鉱産有限責任公司	五鉱営口中板公司 五鉱物産(常熟)公司
非鉄	タングステン アルミ Pb Zn 銅 Sb Bi 錫 銀 金 希土	五鉱有色金属	勘察開発公司	湖南有色金属集团公司	
				江西タングステン業有限公司 香炉山タングステン業公司	南昌硬質合金公司 贛北タングステン業、厦門タングステン業(控股) HPTec公司
					五鉱有色本部
			牙買加鋁土鉱	広西華銀鋁業公司(株式参加)	関鋁股分 華北鋁業
					五鉱有色本部
			甘肅中盛公司	湖南有色金属集团公司	
			MMG公司	広西成源	五鉱有色本部
			MMG公司	五鉱有色が株式参加の3企業	
			北ペルー銅業		五鉱有色本部
				湖南有色金属集团公司	
					広西華錫 五鉱有色本部
				湖南有色金属集团公司	
				湖南有色金属集团公司	五鉱有色本部
					広西華錫 五鉱有色本部
				甘肅中盛公司 MMG公司	五鉱有色本部
				北ペルー銅業	五鉱有色本部
	江西タングステン業集团有限公司 五鉱贛州稀土股分有限公司				
		五鉱有色本部			
金融		五鉱投資発展有限責任公司			
物流		五鉱物流集団有限公司			
不動産*		五鉱地産ほか(鉱山建設など含む)			
開発**		長沙鉱冶・湖南有色			

\* 不動産建設 Pb・Zn・Biはそれぞれ鉛・亜鉛・ビスマスを示す。  
 \*\* 採鉱冶金技術開発研究  
 (出典: 中国五鉱集团公司持続発展報告2009)

図11.2 中国五鉱集团公司 (Minmetals) の6大主業と企業

## (2) 五鈹發展股份有限公司 Minmetals Development Co., Ltd. (略称「五鈹發展」)

1997年5月、鉄鋼業のための原材料貿易と生産を主に、加えて物流、投資などを実行する企業として成立。1997年5月に上海証券交易所に上場、1998年7月以来、市場動向の指標となる企業に選ばれている。国内の黒色金属(鉄鋼)の流通領域で最大の総合的企業であり、鉄鋼産業への原材料供給と鋼材の流通に関する総合的な業務を行い、業務収入は、1997年の21.74億元(2.6億US\$)から2009年には943.05億元(138.1億US\$)に増加、近年来、国内流通の規模は輸出入の規模を超え大きく増加している。なお、中国五鈹集団としては、このほか、国内鉄鈹山が同じ中国五鈹集团公司傘下の邯邢冶金鈹山管理局(邯邢鈹山局)で運営されている。

### 五鈹發展股份有限公司 (Minmetals Development Co., Ltd) 概要

本社	中国 北京
主要事業	鉄鈹石の輸入、採掘、製鉄鋼、加工品生産及び販売、物流、投資企業を介した開発事業
従業員数	不詳
決算日	12月末日
主要関連会社	五鈹鋼鉄有限責任公司 (五鈹鋼鉄) 中国鈹産有限責任公司 五鈹营口中板有限責任公司(五鈹营口中板)
株主構成	中国五鈹集团公司 62.56% 交通銀行－海富通精選証券投資基金 0.28% 中国建設銀行－海富通風格優勢股票型証券投資基金 0.24% 中国銀行－嘉实沪深300指数証券投資基金 0.23% 中国工商银行－景順長城精選藍籌股票型証券投資基金 0.17% ほか

## (3) 五鈹有色金属股份有限公司 China Minmetals Non-ferrous Metals Co. Ltd.

(略称“五鈹有色”、英名略称“CMN”または“Minmetals NF”)

※同社ホームページの“公司基本信息”によれば、中国語表記は“中国”を冠さず、英文では“China”を付している。

2001年12月、中国五鈹集团公司が主発起人となり国内大手企業5社と連合して、非鉄を扱う傘下企業として設立。近年は中国の非鉄金属工業の中でリーダー的地位を占めている。

国内の資源が世界の中で優勢であるタングステン、アンチモン、レアアースについては生産整合で成果を挙げつつあり、国内で不足がちな資源の銅、ニッケル、アルミナなどについて長期的需要を踏まえて海外開発を進めている。米国のアルミナへの投資、チリとの銅の合資協議、江西銅業股份有限公司との連合によるNorthern Peru Copperの買収などの展開が行われている。

## 五鈹有色金属股份有限公司 (Minmetals NF) 概要

本社	中国 北京		
主要事業	非鉄金属の輸入、採掘、製精煉、加工品生産及び販売、物流、投資企業を介した開発事業		
従業員数	不詳		
決算日	12月末日		
主要関連会社	五鈹資源有限公司 (五鈹資源) 五鈹江銅鈹業投資有限公司 厦門鈹業股份有限公司		
株主構成	中国五鈹集团公司	90.27%	(2010年)
	上海工業投資(集团)有限公司	5.13%	(2010年)
	河池市鉄達有限責任公司	2.13%	(2010年)
	宜興新威集团有限公司	1.71%	(2010年)
	中粮集团有限公司	0.55%	(2010年)
	自貢硬質合金有限責任公司	0.21%	(2010年)

## 2) 財務状況

### (1) 中国五鈹集团公司 (Minmetals)

[US\$換算値(mUS\$)、かっこ内は同社 2010 年持続発展報告による人民币表示(百万元)]

	2010年	2009年	2008年	2007年	2006年
売上高	38,386	24,966	27,117	21,364	17,256
主營業務収入	(254,218)	(170,474)	(185,336)	(156,056)	(134,750)
当期純利益	971	460	953	958	423
	(6,432)	(3,143)	(6,510)	(7,001)	(3,303)
労務費				385	361
人工成本				(2,815)	(2,819)
納付済税額	882	738	877	603	393
已交税金	(5,838)	(4,970)	(5,995)	(4,405)	(3,065)
為替レート(元/US\$) ※	6.6227	6.8282	6.8346	7.3046	7.8087

※為替レートは IFS-International Finance statistics により、End of Period。

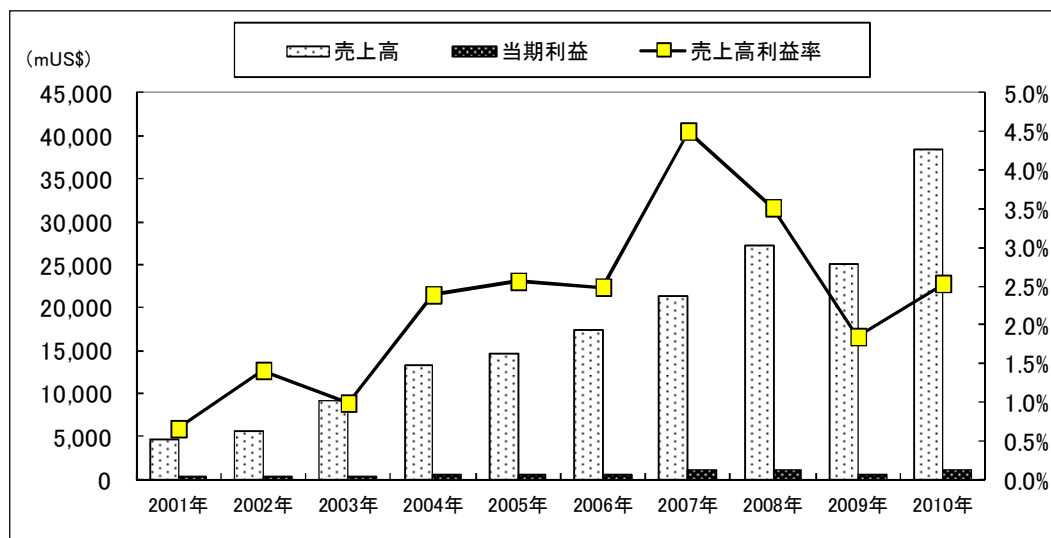


図11.3 中国五鈹集团公司 (Minmetals) の財務推移 (※利益は税引前利益)

(2) 五鉱発展股份有限公司 (Minmetals Development)

[US\$換算値(mUS\$)、かつこ内は同社公開による人民元表示(百万元)]

	2010年	2009年	2008年	2007年	2006年
主營業務収入 Sales Revenue	19,851 (131,465)	13,811 (94,305)	16,563 (113,203)	11,644 (85,058)	9,796 (76,491)
利潤 Income Before Tax	51 (338.00)	34 (234.00)	185 (1,262)	214 (1,565)	108 (841)
当期純利益*1 Net Profit	23 (154.00)	17 (116.00)	138 (944)	146 (1,063)	72 (565)
総資産 Total assets	6,528 (43,236)	6,141 (41,932)	5,516 (37,698)	4,552 (33,254)	2,756 (21,520)
為替レート(元/US\$)*	6.6227	6.8282	6.8346	7.3046	7.8087

\*1 当社の資本に帰属する利益額

\*為替レートは IFS-International Finance statistics により、End of Period。

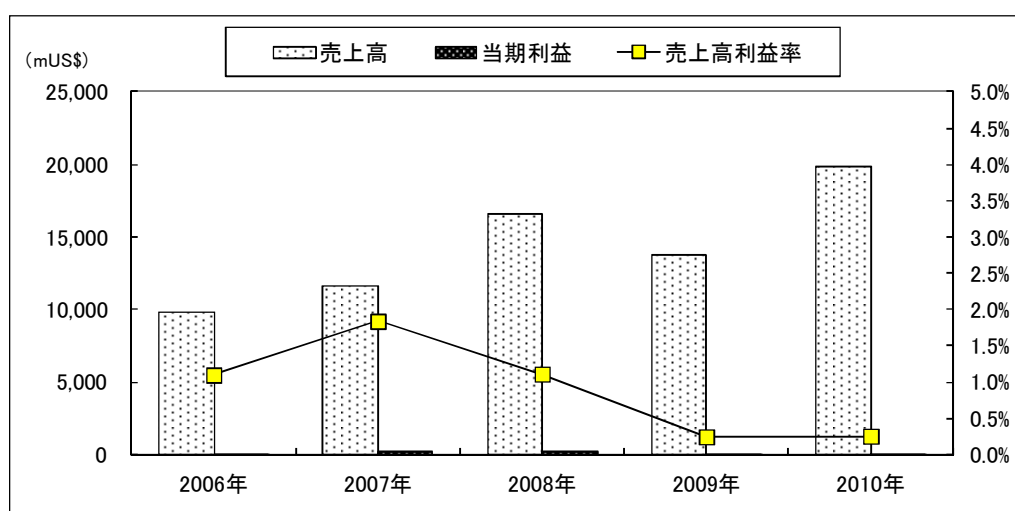


図 11. 4 五鉱発展股份有限公司 (Minmetals Development) の財務推移

(3) 五鉱有色金属股份有限公司 (Minmetals NF)

[US\$換算値(mUS\$)、かつこ内は同社公開による元表示(百万元)]

	2010年*2	2009年	2008年	2007年	2006年
主營業務収入 Sales Revenue	9,034 (59,832)	6,180 (42,200)	5,219 (35,670)	4,823 (35,231)	4,582 (35,781)
利潤 Income Before Tax	485 (3,214)	304 (2,073)	459 (3,138)	122 (889)	113 (881)
総資産 Total assets	6,599 (43,701)			2,912 (21,273)	2,101 (16,404)
為替レート(元/US\$)*1	6.6227	6.8282	6.8346	7.3046	7.8087

\*1 為替レートは IFS-International Finance statistics により、End of Period。

\*2 2010年は財務データが公表されていないため、Thomson ReutersDB より US\$ベースのデータを取得。

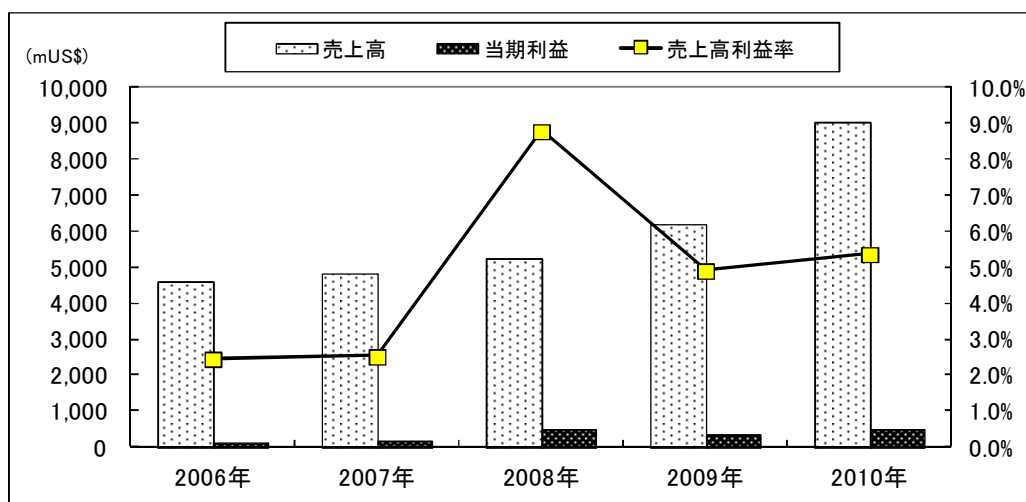


図11.4 五鉱有色金属股份有限公司 (Minmetals NF) の財務推移

### 3) 生産・輸出入品

表11.1 五鉱有色金属股份有限公司 (Minmetals NF) の財務推移

	輸入	生産	輸出
鉄	鉄鉱石・スクラップ	高炉・電炉・加工品	加工品
アルミ	アルミナ	アルミナ、アルミ地金	アルミ地金
銅	精鉱・粗銅・銅屑・電気銅	銅地金・加工品	銅地金・加工品
錫、ニッケル	錫精鉱・地金	錫精鉱・地金	錫精鉱・地金
タングステン	—	APT・WP・WC	同左
メタル	鉛精鉱	地金・加工品	同左
アンチモン	地金	地金・ATO	同左
レアアース	—	酸化物・塩類他	同左

\*APT パラタングステンアンチモン、WP タングステン粉、WC タングステンカーバイド、ATO 三酸化アンチモン

### 4) 沿革

#### (1) 中国五鉱集团公司の沿革と概要

中国五鉱集团公司の沿革は前身の中国鉱産会社にさかのぼり、中華人民共和国成立(1949)以降の政策に伴い変容してきたが、中心業務を金属原材料製品の流通に置き、国の政策を反映しながら発展した。成立以降の略史は以下のとおり。

- 1950年 中国鉱産公司成立
- 1952年 中国五金電工進口公司成立
- 1955年 中国五金電工進口公司を中国五金進口公司に改称
- 1960年 中国鉱産公司と中国五金進口公司が合併し中国五金鉱産進出口公司に改称
- 1965年 中国五金鉱産進出口總公司に改称
- 1992年 企業集團テストケース 55 社国有資授權經營企業 7 社の一つに選ばれる。
- 1997年 傘下に五鉱發展股份有限公司が成立(5月)
- 1999年 中央が管理する国家重要企業(国家骨幹重要企業)44社に選ばれる。
- 2001年 傘下に五鉱有色金属股份有限公司が成立(12月)

2004年 中国五鉱集团公司に改称

2007年 世界500企業中435位、中央企業業績評価でA級と評価される。

2010年 世界500企業中332位(Fortune誌 Fortune 500list)、金属業界では8位(同)と評価

中国の政策との関連は次のように3期に分けられる。

### ① 1949～79年 企業の公有制国营企業化と計画経済進展化

行政による管理の進行と、やがてもたらされた企業活動の停滞期。同業種管理で中国五金鉱産進出口会社が一元化成立し、海外貿易を取り扱い。

### ② 1979～93年 改革開放政策

改革開放政策により、市場経済化促進で政企分離と経済共同体組織の設立の多種多様化、外資導入の制度化が進行。有色金属進出口総会社は、当時の中国五金中国五金鉱産進出口総会社の業務に企業参入。中でも有色金属工業総会社の傘下の鉱産進出口総会社と非鉄金属産業の海外貿易の面で並立した。

### ③ 1994～ 会社法形成と制定期以降

1994年に施行された「公司法」により、「有限責任公司」「股份有限公司」の企業形態が成立し、企業発展と社会的安定が図られた。民営化進展により「有限責任公司」・「股份有限公司」が設立される一方、企業の再編が進行。

同じころ、工業発展の急速進行により、それまでの資源輸出国としての中国は資源消費国に転換。国の政策として「走出去(海外進出)」戦略が推進され、多くの鉱業企業が海外資源の探鉱・開発事業を推進してきている。

国が全出資する中国五鉱集团公司の下に、鉄鋼関連を主業務とする五鉱発展股份有限公司と非鉄関連を主業務とする五鉱有色金属股份有限公司の二つの上場企業を配し、同レベルの金融・物流・運輸・不動産などの分野の企業、それらの傘下企業によるグループ化を推進してきた。

特に2003年以来、鉱産資源の国内国際需給調査を踏まえ、中国が優位にある資源の整合戦略を確定し、タングステンやレアアースなどの領域で、中国五鉱集团公司は国際市場での発言力を強めてきた。国民経済の持続的発展に向け、多様なルートから鉄・銅・アルミなどの資源獲得をはかり、グローバル化に努め資源保障体制を構築させつつある。



## (2) 中国五鉱集団公司の沿革と概要

- 2002年 ・中国の主要な銅生産企業5社と「中銅連合銅業有限責任公司」設立。
- 2003年 ・江西銅業集団有限公司、江西省修水香炉山銅業有限責任公司、南昌硬質合金有限責任公司に出資し、タングステン鉱山企業3社の持ち株取得。  
・米国 sherwin 社のアルミナ工場買収で 1.6mt のアルミナ供給能力確保。
- 2004年 ・キューバの Las Camaricas フェロ・ニッケル工場再建で投資(五鉱有色 49%)。
- 2005年 ・五鉱有色は CODELCO と投資及び鉱石供給に係る協定締結、Gaby 鉱床開発資金提供と 15年間にわたる 57kt/年の銅受給、25~49%の資本参加オプション取得。
- 2006年 ・国家開発銀行と連合し CODELCO と「チリ銅資源の開発融資及び合資協議」を締結し、15年に亘って 840kt の銅を確保。  
・ドイツのタングステン加工メーカーPHTech の株 100%を獲得。  
・7月、湖南省と「戦略的協力枠協議」を締結。5年間で湖南省へ 100億元以上投資。
- 2007年 ・モーリタニアの国家鉱業公司との TAZADIT 鉄鉱開発探査に調印。  
・中国鋁業集団等と共同投資の広西華銀鋁業公司一期工事完、アルミナ生産 1.60mt/年。  
・3月、ポーランド KGHM と戦略的協力協議を締結。銅鉱床の探査、採掘等分野にも拡大。  
・3月、傘下の厦門銅業股份有限公司は、F/S 検証から豪 King Island 島 W 鉱山投資を放棄。  
・5月、CODELCO と 15年間の銅地金供給契約を締結。  
・9月、南ア Naboom クロム鉱床の探鉱権を買収することを決定。買収金額 650万 US\$で取得する予定。  
・9月、ポーランド KGHM と資源の共同開発協定を締結。国内外の非鉄金属資源の共同開発を実施。  
・10月、傘下の中国国際五鉱が南ア Naboom クロム探鉱区を南ア企業2社から買収。  
・10月、江西銅業集団公司と内外の金属鉱物資源の共同開発の戦略的協力契約を締結。  
・12月、江西銅業集団公司は2件の海外買収を公表。一つは中国五鉱と共同でカナダの鉱山会社 Northern Peru Copper 社を約 460mC\$で買収。他はアフガニスタン銅鉱床開発権の落札。  
・12月、チリ・Esperanza 鉱山の権益取得を Antofagasta と交渉していると安泰科が報じる。
- 2008年 ・1月、Northern Peru Copper 社の株式 93.9%を取得。3,276万株余を約 4.3億万\$。El Galeno 銅・金開発プロジェクトを獲得することになる(江西銅業集団公司と共同)。  
・2月、五鉱集団と江西銅業集団公司は、Northern Peru Copper 社買収のため五鉱江銅業投資有限公司(五鉱江銅公司と略称する)を設立。  
・5月、傘下の五鉱有色は、江西省州市政府、贛州希土鋁業有限公司と希土(REE)産業発展協議を締結。世界最大の希土企業集団公司を共同で建設する計画。  
・6月、常州矽鋼片加工中心(ケイ素鋼加工センター)内に西安西電変圧器有限責任公司と共同投資で五鉱西電(常州)鋼材加工有限公司を設立。  
・12月、中国銀行及びペルー銀行とペルーの Galeno 銅鉱山開発プロジェクトの融資契約を締結した。2007年のFSによると、マインライフは20年、年

間銅地金 144kt を生産。60%の権益を所有。

- ・12月、贛県紅金希土有限公司ほかと共同で「五鈹稀土(贛州)股份有限公司」設立。五鈹有色が40%。同合弁企業の年間 REE 精製分離能力 8,500t は、国内最大のイオン吸着型希土分離精製企業集団となる。
- ・12日、ポーランド・KGHM と北京で 2009 年電気銅年間 50kt の輸入契約を締結。

2009 年

- ・2009 年 2 月、OZM に対して総額 2.6bA\$ の買収提示し、4 月、軍事地域に近く立地する Prominent Hill 銅・金鈹床(SA 州)とインドネシアの Martabe 金プロジェクトを除く主要資産を 1.206bUS\$ 買収することで合意。6 月 17 日、Minmetals への資産売却が完了し、最終的に売却総額は 1.354bUS\$ になった。
- ・同時に豪に MMG を設立。
- ・6 月、豪市場で同社が保有していた澳華黄金(Sino Gold Mining Limited)の全株式 11.4929m 株(株式総数の 3.93%)を 62.295mA\$ で第三者に売却した。
- ・10 月、Minmetals が 60% 権益を保有する El Galeno 金・銀・銅・モリブデン・プロジェクト(ペルー Cajamarca 県)の鈹山開発を 2010 年に開始し、2012 年に生産開始との計画を発表(CAPEX 1bUS\$)
- ・10 月、ブルガリア銅企業 AurubisAD 社と電解銅の 2009Q4~2015 年の長期購入契約を締結。
- ・11 月、長沙鈹冶研究院、魯中冶金鈹業集団をグループ化。
- ・12 月 28 日、湖南有色金属控集団公司を 51% 株式買収で合意。Minmetals は同公司の増資を引き受け 49% 株式を 56 億元(750 億円相当)で取得し、2% を湖南省から無償譲渡を受け 51% とする。

2010 年

- ・1 月、ポーランド・KGHM と北京で 2010 年電気銅年間 4 億 US\$ の輸入契約を締結。
- ・3 月、スウェーデン硬質合金メーカー SANDVIC とタングステンの長期供給協議署名。同国 BOLIDEN と 3 年間の電気銅調達長期契約署名
- ・5 月、鉄鋼流通センター成立。
- ・7 月、山東鋼鉄集団と戦略提携協議を署名、鉄鋼流通センター機能を山東鋼鉄集団への鉄鈹石・石炭等の供給に生かす。
- ・8 月、Zhou 会長は、豪州子会社の Minerals & Metals Group(MMG)を通じて、豪州の鉄鈹石及び石炭の権益確保の機会をうかがっていることを、2010 年 8 月 19 日、上海で開催された Melbourne Mining Club 主催の鈹業大会で明らかにした。
- ・11 月、ペルーにある子会社 Lumina Copper SAC 社を通じ、ペルー北部にある Peruvian・Galeno プロジェクトへ 25 億 US\$ を投資する。当該鈹山のマインライフは 20 年、年間銅生産量 144kt と予想される。
- ・12 月、傘下の長沙鈹冶研究院は、湖南省国有資産監督管理委員会と桃江マンガン鈹山再開プロジェクトについて契約を締結した。同鈹山は省に属す国有企業であった桃江マンガン鈹公司により運営されていたが、破産により土地を国土庁に回収され、他の資産についても省冶金産業管理弁公室の管理下にある。長沙鈹冶研究院は、鈹山資産全てを買収、融資により响涛源鈹区の生産を再開する「桃江マンガン鈹山再編協力計画」に従って計画を実行する。
- ・12 月、湖南省衡陽市市政府と戦略的協力協定を締結した。湖南有色金属株集团有限公司を事業実施主体とし、金・銅の総合回収のグレードアップ、銅・鉛・亜鉛製錬とその高度加工に重点を置き、「中国五鈹南方非鉄金属産業基地」を建設する。その一環として、衡陽松木産業パークに湖南省で最大規模の金・銀・銅・鉛・亜鉛・タングステンの高度加工基地などを建設する。

- ・12月、中国五鉱股份有限公司を設立。
- 2011年・1月、傘下の五鉱資源が、その親会社である五鉱有色股份有限公司(五鉱有色)から Minerals & Metals Group(MMG)を買収することを、豪州政府から認可された。五鉱資源は、現地子会社 Album Resources 社を通じ 18.46 億\$で MMG を買収する。もともと MMG は五鉱有色が 2009 年に OZ Minerals Ltd. の大部分の資産を買収した折に設立された企業である。
- ・1月、100%子会社の五鉱勘査開発有限公司は、湖北省竹山県政府と鉱物資源探査開発の提携合意書を調印。合意書では竹山地域の重要鉱区の探査強化、中でも廟壩ニオブ・希土類鉱山及び殺熊洞希土類鉱山での探査を重要としている。又、国の希土類資源の管理政策の徹底、希土類の選鉱・製錬に関する研究開発強化によって、希少金属資源の保護を実施する。
- ・1月、豪州子会社 Minerals and Metals Group Pty Ltd.(MMG)は、QLD 州 Mt Isa の北東 85 km に位置する Dugald River 亜鉛プロジェクトに関し、QLD 州政府に提出した環境影響報告書の承認が下り次第、数か月以内に最終的な投資判断を行う見通しを発表した。
- ・2月、江西省贛州の開発区で五鉱三徳(贛州)稀土材料有限公司の工場建設が着工した。これにより、五鉱はレアアース磁性材料の分野で一步を踏み出したことになる。
- ・3月、広東省河源市政府と戦略的提携協定を締結し、レアアースを中心とする鉱物資源の合理的かつ秩序ある探査・開発及び集約的な利用を図ることが目的。五鉱集団は河源市のレアアース鉱区の整理統合を行い、レアアースの探査・開発を進め、選鉱・製錬・加工・販売を一体化した総合レアアース企業を設立し、環境保全とレアアース資源を最大限に保護する。
- ・3月、周中枢総裁は、五鉱は既に海底資源の探査と採掘に関して、輸送、選鉱、製錬等について重点的な研究を行っている」と表明した。傘下の長沙鉱冶研究院では現在、マンガン団塊、海底熱水鉱床、コバルト・リッチ・クラストなど深海底での研究開発を実施している。
- ・4月、傘下の五鉱資源は、ザンビアで銅を生産するベースメタル中堅鉱山の Equinox Minerals 社(本社：WA 州 Perth 豪州、及びカナダ・トロント上場)に対して総額 63 億 C\$(6.53bUS\$)の買収提案をした。
- ・6月、チリ政府が、CODELCO と中国五鉱集団会社が戦略的協力に関する MOU を締結したと発表した。この MOU は、南米諸国歴訪中の中国の習近平国家副主席の歓迎式で署名された。
- ・8月、新たに青海五鉱資源開発有限公司を設立し、青海省祁連県政府と共同開発協定を締結し、レアアース、石炭、モリブデン、銅などの開発プロジェクトを実施する。2011年5月には、祁連県と「五鉱集団公司による支援協定」を締結していた。
- ・8月、傘下の五鉱有色股分有限公司は「2011年のレアアース生産が生産枠に達したため、全国の製錬・分離企業は8月から生産停止し、レアアース市場の安定的運営を確保」することを提案した。現地報道では、多くの有力企業の関係者は五鉱が示した「中国全国の生産枠は既に満杯」との認識に同意せず、同業社の多くがこれに応じる動きはなかった。
- ・8月、傘下の五鉱探査有限公司は、河南省地質産局と「産資源探査開発戦略的協力協定」を締結し、有価金属・希少金属・希土金属の探査開発協力を一層拡大する。今後は、2013年までに嵩県鉱深下部統合探査を実施し、条件が整えば希少金属・希土金属加工基地を建設する予定。
- ・9月、湖南省永州市政府とレアアース及びマンガンなどの資源開発を目指す戦略的枠組協定を締結した。五鉱集団は、2006年に湖南省政府と経済技術協力協定を締結して以来、同省へは 67.6 億元(1.06bUS\$)が投資され、大

規模な工業プロジェクト及び資源開発事業が展開されている。

- ・9月、傘下の五鉱資源有限公司は、同社が持つ資産を親会社である五鉱有色金属股份有限公司に売却することで合意したと発表した。売却資産は五鉱アルミ業、華北アルミ業、営口鑫源金属套管、常州金源などで、総額726.8mUS\$となる。資産売却は「ベースメタルの上流部門に集中する」という同社の戦略に沿ったもの。

(出典：五鉱集団「2007 持続発展報告」、JOGMEC ニュースフラッシュから編集)

## 5) 事業内容

### (1) 中国五鉱集团公司

(単位：%、百万元)

	2010		2009		2008		2007	
	%	売上高	%	売上高	%	売上高	%	売上高
鉄鋼	51.7%	131,400	64.4	109,785	74.9	138,817	63.1	98,110
非鉄金属	32.8%	83,300	24.5	41,766	19.8	36,697	32.0	49,755
金融			11.1	18,923	5.3	9,822	1.5	2,332
不動産							1.6	2,488
物流							1.4	2,177
その他							0.4	622
計		254,218		170,474		185,336		155,484

※2007年は「持続的発展計画報告 2007年」の、2008年は「持続的発展計画報告 2008年」の、2009年は「持続的発展計画報告 2009年」の%を金額換算、2010年は「持続的発展計画報告 2010年」

### (2) 五鉱発展股份有限公司〔鉄鋼部門〕

五鉱発展股份有限公司の2007年の主營業務収入は85,058百万元。扱い品種別展開は以下のとおりで、この5アイテムで約9割となる。

表11.2 五鉱発展股份有限公司の取扱い製品別事業実績

	2007年					2006年		
	扱い量 総量 千t	同左 総金額 mUS\$	輸入量 (内数) 千t	輸出量 (内数) 千t	国内量 (内数) 千t	輸入 (推定値) 千t	輸出量 (推定値) 千t	国内量 (推定値) 千t
鋼材	11,110	6,115	294	522	10,294	646	652	7,862
鋼塊	5,018	1,972		112	4,906		475	5,125
鉄鉱石	9,972	1,059	6,316		3,656	4,877		3,003
コークス	1,910	330		899	1,011		1,019	832
石炭	5,411	375	1,207	3,562	642	107	3,893	565

※2006年の値は2007年定期報告の中の前年比から推定計算、石炭の輸入の2006年値が小さいのは同報告で前年比増減が1029.9%となっている反映。

※2008年以降の定期報告では扱い品種別展開は明示されていない。

(3) 五鉱有色金属股份有限公司〔非鉄金属部門〕

	2009年			2007年			参考2006年		
	売上額 億元	対 総売上比 %	対 総利潤比 %	売上額 億元	対 総売上比 %	対 総利潤比 %	売上額 億元	対 総売上比 %	対 総利潤比 %
銅	142.80	34	39	95.04	27	7	47.38	13.2	6
アルミ	56.93	13	17	97.74	29	35	179.53	50.2	40
タングステン	79.80	19	13	60.89	17	47	53.14	14.9	45
アンチモン	3.80	1		10.59	3	3	14.96	4.2	3
鉛亜鉛貴金属	77.75	18	19	33.9	10	1	20.58	5.8	1
錫ニッケル	8.40	2	7	38.94	11	4	29.56	8.3	4
レアアース	48.69	12		17.83	5	3	10.5	2.9	1
その他							2.16	0.6	
計	420			352			357.81	100	100

※2007年；WEBでは銅のみ売上額の実数が未載のため総収入352億元として計算

※2007年；総収入352億元としたときアルミ以外は売上額と総売上額比が一致。アルミでWEB掲載値の97.74億元を用いると、計が352億元を超過する。この値を尊重してそのままとし、総計352億元とは合わないままとする。

※2009年；WEBでは銅、タングステン、錫、ニッケルは売上額記載がないため、売上額420億元と売上比から計算合計は420億と若干異なるがそのままとする。

※2008年、2010年の値は入手できず。

2009年の品種別に含まれる主な製品と一部の数量は次表のとおり。

表11.3 2009年の品種別に含まれる主な製品と一部の数量

銅	銅カソード、銅精鉱、粗銅、雑銅、銅材
アルミ	アルミナ(142万t)、アルミインゴット(13万t)、アルミ加工品
タングステン	タングステン精鉱、APT、酸化タングステン、タングステンパウダー等
アンチモン	アンチモン地金、酸化アンチモン
鉛・亜鉛貴金属	鉛・銀・マグネシウム地金、貴金属、鉛精鉱(輸入)
錫・ニッケル	錫、錫製品、ニッケル、ニッケル精鉱(輸入)
レアアース	レアアース金属、同酸化物、同塩類、蛍光材料、磁性材

※参考：「五鉱」とは、元々“五金鉱産”の略であり、“五金”とは狭義には金・銀・銅・錫・鉄の5つの金属を意味し、転じて広義の意味で金属全般や金物を指す。

① 銅

電気銅、精鉱、粗銅、銅スクラップ、銅製品を扱い、五鉱有色の販売額に占める割合は2009年で34%。電気銅の2009年輸入販売額は全中国の15%を占める(精鉱については最近の数値がないが、2006年は同30%であった)。

海外での事業展開に積極的であり、輸入精鉱等の2/3は南米、ヨーロッパ、アフリカなどからの投資鉱山或いは海外鉱山企業調達に長期契約が占める。

目下、銅産業への投資額は五鉱有色の総投資額の29.26%を占めている。

② アルミ

2009年のアルミ関連販売額56.93億元で、五鉱有色全体に占める比率は13%(参考；2007年29%)となった。アルミ形態別の取扱量は、アルミナ1,420kt、アルミ地金130kt、ア

ルミ加工品 40kt であり、中国最大のアルミナの輸入企業であり販売企業である。主要投資先である五鉱資源の傘下企業の中国鋳業国際有限公司を通じて、米国 Alcoa に投資し、同社から 30 年にわたり毎年 400kt のアルミナ調達に長期契約がある。目下、アルミ産業への投資額は五鉱有色の総投資額の 14.55% を占めている。

### ③ タングステン

タングステンの精鉱、パラ・タングステン酸・アンモニウム、酸化タングステン、タングステン粉、タングステンカーバイド、タングステン合金などを扱い、全中国のタングステン輸出の 40% 近くを占めている。

2007 年のタングステン販売額は五鉱有色全体の 19% で、利潤に占める割合は 13% となっている。この部門への投資額は五鉱有色の総投資額の 6.74% を占めている。

### ④ アンチモン

アンチモンの地金と酸化物を扱い、中国全体のアンチモン輸出の約 25% を占めている。2009 年のアンチモン販売額は 3.8 億元、五鉱有色全体の 1% となっている。世界で最大のアンチモン生産販売者となるために投資を行って来て、競争力を強めている。

### ⑤ 鉛・貴金属・レアメタル等

鉛・銀・マグネシウム・貴金属・レアメタルの輸出と鉛精鉱輸入を扱っている。鉛については精鉱輸入額、地金の輸出額が、それぞれ中国全体に占める割合は 5%、6% であり、銀の輸出額は同 10% を占めている。販売額は 77.75 億元、五鉱有色全体の 18% となっている。この部門への投資額は五鉱有色の総投資額の 46.86% を占めている。

### ⑥ 錫・ニッケル

錫とその製品・ニッケルと精鉱の輸出入を取り扱っていて、2009 年の販売額は五鉱有色全体の 2% だが、利潤では 7% を占める。

### ⑦ レアアース

レアアース金属・酸化物・塩類・蛍光材料・磁性材料の輸出を取り扱っていて、全中国に占める割合は 10%。2009 年の販売額は 48.69 億元で五鉱有色全体の 12%。この部門への目下の投資額は五鉱有色の総投資額の 1.99%。

## 6) 探鉱戦略

### (1) 概要

海外と国内で探査活動が継続されている。

### (2) 対象鉱種

鉄、銅、ボーキサイト、タングステン等多岐にわたる。

### (3) 対象地域・探鉱段階

表「中国五鉱集团公司の沿革と概要」の表中で記載した概要のとおり、海外展開での投資を通じた探査開発等積極的に推進。

### (4) 最近の動向

最近伝えられている探査に関わるプロジェクト始動等は以下のとおり。

#### ペルーGaleno プロジェクト

2008年2月、江西銅業と合弁企業を設立し、Cajamarca North Peru Mining を450 mUS\$で取得。開発費980mUS\$で、銅144kt/年(精鉱)、モリブデン5.2kt/年、金2.56t/年、銀62.2t/年が見込まれている。

#### チリ Gabriela Mistral(チリ・第Ⅱ州)

CODELCO と更に海外探鉱の共同推進を決定、2008年5月生産開始。しかし、2008年9月、CODELCO との間の同鉱山売却に関する権利義務の無期限延期に合意し、権益を最大49%獲得できる権利を放棄。代ってCODELCO はMinmetals との中南米・アフリカ等での共同探鉱を発表。なお、Gabriela Mistral は2008年Q1～Q3間にSxEw 29千tの銅を生産。埋蔵量は5.84億t、品位Cu 0.41%で、マインライフ15年。

#### 甘肅省:甘肅省肅北石硯沟銀鉛亜鉛鉱山

2006年4月に甘肅省建新実業集团有限公司、甘肅省有色地勘局と甘肅省肅北石硯沟銀鉛亜鉛鉱山の探査に関する提携。大型の銀鉱山、中型の鉛・亜鉛鉱山の探査開発。

#### 安徽省:庐枞地区泥河鉄鉱山

2007年11月、安徽省国土資源庁等と探査協議締結。長江の中下流域の地質探査重点地域の中であり、深部探鉱の重点地区。6,000万元を投資。

#### 江蘇省:南嶺成鉱帯

2008年1月に南京地質鉱産研究所と南嶺成鉱帯東段の良源-南山地区について探査協議締結。タングステン等多金属鉱床。

#### 広東省:南山タングステン・モリブデン鉱山

2008年2月、南京地質鉱産研究所から多金属鉱探査について合作。地質調査から商業性探査にいたる探査活動を実施。

#### 湖南省:レアアース及びマンガンなどの資源開発を目指す戦略的枠組協定を締結

このほか、甘肅省、河南省、青海省などと探査開発協議を締結している。